

大虎スタメン起用

このほど竣工となった西成区の福祉施設「みどり苑」(社会福祉法人山王みどり会)は川崎洋軒さん(23)をスカウト、オープンスタッフとしての起用を約束した。みどり苑に福祉用具も扱う建具業者として出

入りしていた川崎さんは、招待された竣工パーティの席で美味しいお酒とご飯に酔酌しお酒を飲みながら、なぜかその後理事長から要請があり、社長から「理事長がお前を欲しがっている」と知らされた模様。一旦は建具屋からのレンタル移籍の形

で入社し、この度トップ会議の結果、正式に移籍が発表された。もともとは学生時代に目指そうとしていた福祉の道、流されるまま運命と向き、目の前で起きている事に従おうと思ふと川崎さん。自分でも人や地域のために役立てるこの新しい職場に充実感や自信も感じ、「ここは十年たってもやめないと思う。理事長に感謝です。いざいざ責任ある立場で頑張りたい」と熱く語る。

求人廣告

新聞記者

男女問はず、経験不問
山王の五三三三報社社内
電話 06-5046867

うしろの家のカンバン娘

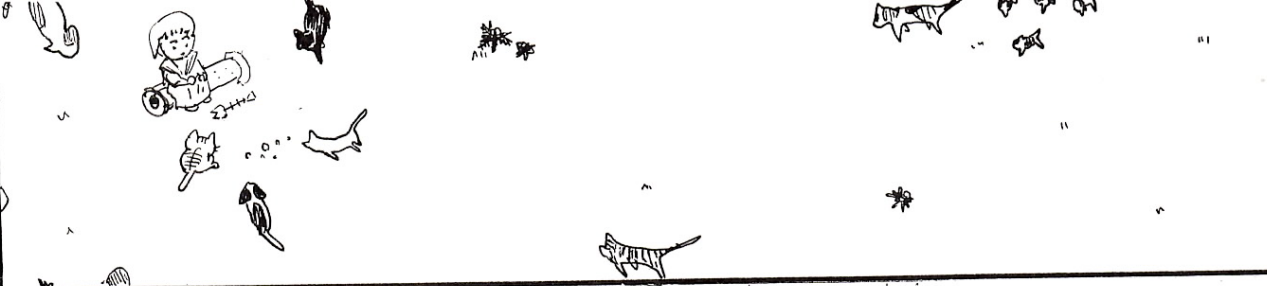
今池市場の中にある山野花店は、智子さんと雅子さんを擁する万全の二枚看板体制だ。大正五年に有志で立ち上げた当時は、タイムを貼ったモダンな市場に大阪中の関係者が見学に来た。押し寄せた。現在も食品を中心に生活全般のものが一ヶ所所々で買える市場にお客さんは途切れない。営業時間は朝八時から夜八時、定休日には月一度の22日のみと忙しく、お正月は寝るだけの生活だ。山野花店では天王寺の問屋さんが生産者から直接買付けた一級品のお花を仕入れている。着物が似合う花店のおばちゃん、ご主人に先立たれたようで、「後家さんになったの」と語る。様々なエネルギーが渦巻く今池市場で、花は明日も咲き誇る。

ストロップ

北決で喫茶店を経営していたハマさん(38)は、友人のツテもあって西成の新住民となった。ビルの下にあった店は周辺の証券会社や金融関連に勤めるサラリーマンやOLで大賑わい。特に風通ぎは大変だったことが思い出される。ところが銀行や郵便局が土曜日を休みにしたことをきっかけに客足が落ち込んだ。「もうアカン」と思い切って店を畳んで商売の立て直しを決定。住まいも移し、奥さんと共に新天地聖天下で小さな喫茶店「ストロップ」を開いた。今度は地上の店であるため店内からは一戸建の広い家も少なくない静かな住宅街が見える。お客さんの多くは近所の主婦たちだが、聖天山公園で朝のラジオ体操を済ませたお年寄りや建築現場で働く若い職人たちがやってくるようになった。今日も道行く人の足を止めながら次第に地元馴染んでいく。

緑の食糧 緑のカリッパ

お食事処ことばき(飛田本通商店街)の松岡隆富さん(50)・久美子さん(48)夫婦が、定休日のほかに度々店を開ける理由を常連の多くは知っている。淡路島緑町にある奥さんの実家で農作業を手伝っているのだ。五月の連休の玉ねぎの取り入れから田植えの頃まではとくに忙しく、夜8時の閉店後、夕食もとらずにマイカーの緑色のカリッパを駆って、浜甲子園から夜行のフェリーに乗り込む。店の二階で産まれたという二代目ご主人の隆富さんは「はじめの頃は農作業の勝手がわからずキツかったけれど今は楽しい」と笑う。ことばきで出す米(コシヒカリ)や旬の野菜は、その8反ほどの自家農園で獲れたもの。味噌も寒仕込みの淡路産だ。「自分で作ったものが一番安心」とは久美子さん。いざいざは夫婦二人、淡路島に隠居して土と暮らすことも考えている。



新福寿荘
電話 070-5046867

珈琲 ストッブ

聖天下1丁目4-39